



2026年2月19日

各 位

会 社 名 ステラファーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 上原 幸樹
(コード番号：4888 グロース)
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 伊 神 尚
(TEL 06-4707-1516)

医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院との特定臨床研究に関する 薬剤供給契約の締結に関するお知らせ

当社は、医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院（所在地：神奈川県鎌倉市、以下「実施医療機関」）との間で、特定臨床研究（以下「本研究」）に関する薬剤供給契約（以下「本契約」）を締結しましたので、お知らせいたします。

記

1. 契約の内容

本契約は、実施医療機関において、FBPA-PET[※]陽性の難治性悪性腫瘍患者を対象として、ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）の有効性及び安全性を検討することを目的とした本研究を実施するにあたり、当社が使用される薬剤を提供することについて定めるものです。

本研究では、既に実施医療機関に設置されているNeutron Therapeutics社製のBNCT治療システム「nuBeam Suite」、および当社製BNCT用医薬品であるボロファラン（¹⁰B）（販売名：ステボロニン点滴静注バッグ9000mg/300mL、以下「ボロファラン」）を使用し、照射終了後12週間における有効性（腫瘍縮小効果）および安全性の評価を行う予定です。

当社は、本研究に使用される試験薬としてボロファランを実施医療機関に提供いたします。

2. 期間

2026年2月9日から2028年12月31日

なお、本件による当社の2026年3月期の業績に与える影響は軽微であります。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

※ FBPA-PET

BNCTに使用するホウ素薬剤ボロファランの標的腫瘍内への選択的ホウ素集積量を測定する^[18F]FBPA（2-フルオロ-4-ボロノフェニルアラニン）を用いたPET検査です。

この検査では、BNCTにおいてがん細胞を狙い撃ちするために必要なボロファランが、がん細胞にどれだけ集積するかを画像診断により事前に確認することを目的としています。